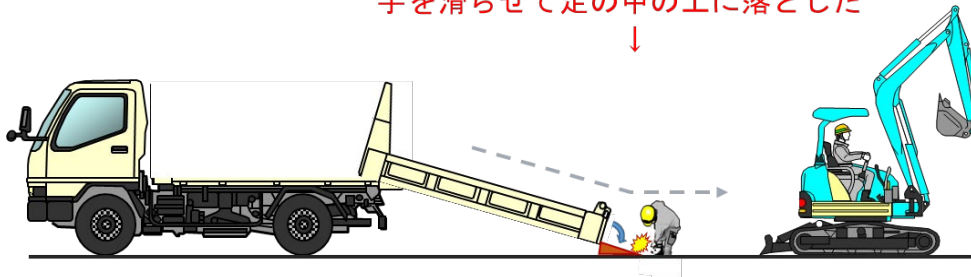


# 公共工事等事故情報

|      |  |      |                     |       |    |         |      |
|------|--|------|---------------------|-------|----|---------|------|
| 事故分類 | 労働災害   | 発生日時 | 令和3年2月3日(水曜日) 9時30分 |       |    | 工事関係者区分 | 三次下請 |
| 事故区分 | 挟まれ・巻き込まれ  | 性別   | 男性                  | 年齢    | 67 | 業種区分    | 土木   |
| 被災程度 | 左足甲骨骨折   |      |                     | 事故レベル | Ⅱ  | 休業見込日数  | 30日  |
| 工事概要 | 管の改築工事   |      |                     |       |    |         |      |
| 事故概要 | ローダーダンプの荷台を下げてバックホウを降ろした後、作業員(被災者)が一人で後ろのあおりを持ち上げ起こそうとしたところ、手を滑らせてあおりが被災者の足の上に倒れ落ち、左足甲骨を骨折した。  |      |                     |       |    |         |      |
| 事故原因 | 作業前の安全訓練やKY活動等で、作業手順の周知や注意喚起が不足していたことにより、作業員が重量物であるあおりを一人で立てて起こそうとしたこと。  |      |                     |       |    |         |      |
| 改善策  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ローダーダンプの作業手順の周知や注意喚起の徹底を行う。</li> <li>ローダーダンプのあおりを閉めるときは二人以上で作業する。</li> <li>地面とあおりの間にリン木等を挟み、手を滑らせて落とした際にあおりが足に当たるのを防ぐ。</li> <li>日頃から周囲の整理整頓を行い、手足元に注意して作業する。</li> <li>毎朝のKY活動等において、現場代理人が主体となり現場全体の安全意識の高揚を図る。</li> </ul> |      |                     |       |    |         |      |

## 事故状況図

後部のあおりを立てようとした際に  
手を滑らせて足の甲の上に落とした



## 改善状況図



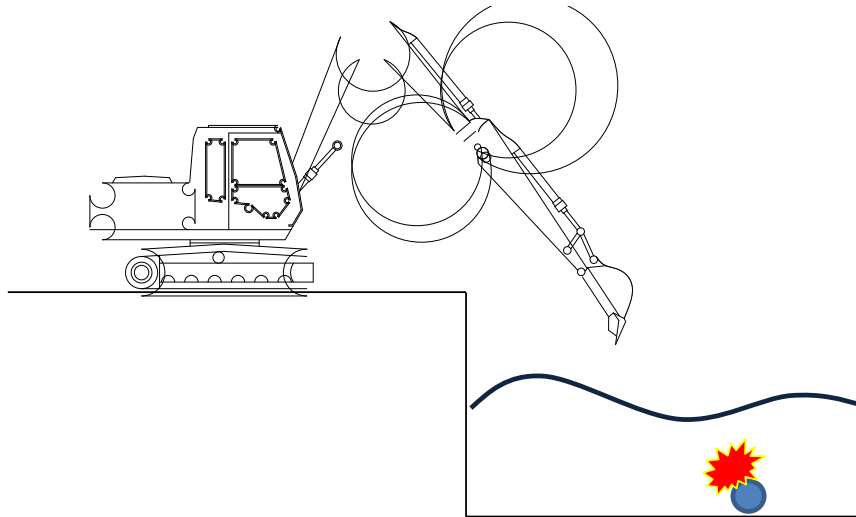
- ・ リン木の設置による挟まれ防止
- ・ 二人作業

- ・ 再発防止安全訓練の実施

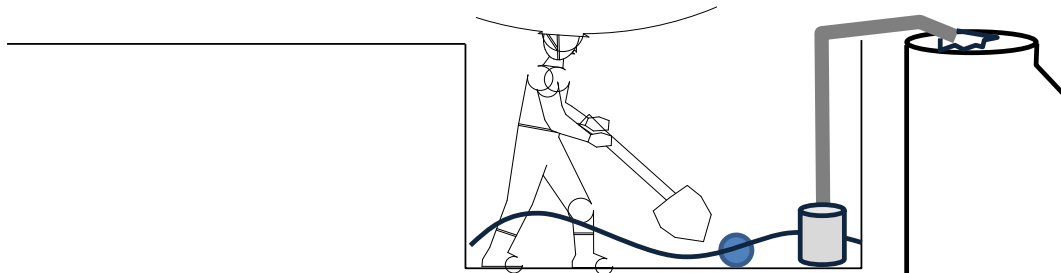
# 公共工事等事故情報

|      |  |      |                          |       |   |         |     |
|------|--|------|--------------------------|-------|---|---------|-----|
| 事故分類 | 物損公衆災害   | 発生日時 | 令和 3年 2月 5日(金曜日) 13時 50分 |       |   | 工事関係者区分 | 元請け |
| 事故区分 | 埋設物等損傷   | 性別   | —                        | 年齢    | — | 業種区分    | 土木  |
| 被災程度 | 水道給水管破損(空家)  |      |                          | 事故レベル | I | 休業見込日数  | —   |
| 工事概要 | 側溝布設   |      |                          |       |   |         |     |
| 事故概要 | 本工事では、水路の取り壊しを行い、側溝(500×1400)を布設することとしており、水道給水管φ20mmが支障となることから、移設を行うために施工業者にて掘削を実施し給水管を露出させた。その後、湧水が発生し、地下水交じりの土砂により給水管が覆われ視認できなくなったため、バックホウ(0.2t)にて再度掘削を行ったが、その際、給水管φ20mmを破損させたもの。(供給先が空き家であったため被害は無し。) |      |                          |       |   |         |     |
| 事故原因 | 地下埋設物周辺を掘削する際に、バックホウにて掘削したこと。  |      |                          |       |   |         |     |
| 改善策  | <ul style="list-style-type: none"> <li>掘削作業中、湧水が発生した際は、ポンプによる排水を徹底する。</li> <li>埋設物周辺を掘削する際は、人力掘削を徹底する。</li> </ul>  |      |                          |       |   |         |     |

## 事故状況図



## 改善状況図



# 公共工事等事故情報

|      |  |      |                      |       |    |         |      |
|------|--|------|----------------------|-------|----|---------|------|
| 事故分類 | 労働災害   | 発生日時 | 令和3年2月8日(月曜日) 15時00分 |       |    | 工事関係者区分 | 一次下請 |
| 事故区分 | その他  | 性別   | 男性                   | 年齢    | 41 | 業種区分    | 設備   |
| 被災程度 | 右あばら骨にヒビ   |      |                      | 事故レベル | I  | 休業見込日数  | 0    |
| 工事概要 | 機械設備工事   |      |                      |       |    |         |      |
| 事故概要 | プルボックス清掃のために片手に掃除機を持った状態で脚立を上っていたところ、バランスを崩して足を1段踏み外し、すぐそばにあった扉に体を強打した。                  |      |                      |       |    |         |      |
| 事故原因 | 片手に掃除機を持ったまま、つまり片手が塞がった状態で脚立を上ったことにより発生した事故である。  |      |                      |       |    |         |      |
| 改善策  | 厚生労働省リーフレットと安全ポケットブックを用いて脚立の安全な使用方法に関する教育を全作業員に実施し、脚立昇降時は物を持たないこと、また、作業中の三点支持を守ることを徹底した。 |      |                      |       |    |         |      |

## 事故状況図

プルボックス

片手に掃除機を持って脚立を上っていたところ  
バランスを崩して足を1段踏み外し、  
扉上部に体を強打

片手に持っていた掃除機

## 改善状況図

安全ポケットブック

福岡建設労務安全研究会

厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署

作業員への教育に用いた安全ポケットブック及び厚生労働省リーフレット

作業員への教育を行った日の作業日報(抜粋)

| 工事日報              |              |           |              |
|-------------------|--------------|-----------|--------------|
| 工事名               |              |           |              |
| 工事の場所             |              |           |              |
| 工事の工期             |              |           |              |
| 担当者               |              |           |              |
| 本日出勤: 6           |              | 出勤累計: 331 |              |
| 令和 3 年 2 月 16 日   | 火曜日          | 作業時間      | 8:00 ~ 17:00 |
| 作業内容              |              | 連絡事項      |              |
| トリアージ: 2名 / 仮保護調整 |              |           |              |
| 11:00 ~ 12:00 仮取付 |              |           |              |
| 安全/外ロー            |              |           |              |
| 通関工務台             |              |           |              |
| 安全工務台             | 階間の通気体同 取付作業 |           |              |
| その他工務             |              |           |              |
|                   |              |           | 作業人員 5       |

# 公共工事等事故情報

|      |  |      |                           |    |   |         |      |
|------|--|------|---------------------------|----|---|---------|------|
| 事故分類 | 物損公衆災害   | 発生日時 | 令和 3年 2月 17日(水曜日) 15時 15分 |    |   | 工事関係者区分 | 一次下請 |
| 事故区分 | 埋設物等損傷   | 性別   | —                         | 年齢 | — | 業種区分    | 土木   |
| 被災程度 | 未使用給水管φ20mm破損(断水なし)  |      | 事故レベル                     | I  |   | 休業見込日数  | —    |
| 工事概要 | 管路φ600, φ500, φ250mm管布設及び人孔設置  |      |                           |    |   |         |      |
| 事故概要 | 既設側溝の撤去及び管路掘削を人力・バックホウ併用にて行っていたところ、民間駐車場に引き込まれていた未使用給水管(φ20mm)にバックホウのバケットが接触し、これを破損させた。  |      |                           |    |   |         |      |
| 事故原因 | 工事に先立ち埋設物調査を行い埋設図(水道台帳図)を入手しており、台帳図には破損させた給水管の記載がされていた。しかし、台帳図上には供給先の建物があったが現在はそれが無く駐車場となっていたこと、駐車場側に止水栓が無かったことから、図示された位置には給水管は無いものと判断しバックホウによる掘削を行ったところ給水管に接触した。給水管の記載があったにもかかわらず上記のとおり周辺状況から埋設物がないと判断して機械掘削を行ったことにより発生したものの。 |      |                           |    |   |         |      |
| 改善策  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地下埋設物図・資料を再度確認し、施工を行う箇所の路面に色分けでマーキングを行った。</li> <li>・マーキングをもとに始業前ミーティング時に当日作業時に影響のある埋設物を周知徹底し、その埋設物が露出確認出来るまで人力により探り掘削にて作業を行った。</li> </ul>  |      |                           |    |   |         |      |

## 事故状況図



給水管φ20mm破損

## 改善状況図



・施工を行う箇所の路面に色分けでマーキングを行いました。  
 ・マーキングをもとに始業前ミーティング時に当日作業時に影響のある埋設物を周知徹底し、その埋設物が露出確認出来るまで人力により探り掘削にて作業を行いました。

# 公共工事等事故情報

|      |   |      |                        |    |         |      |    |
|------|---|------|------------------------|----|---------|------|----|
| 事故分類 | 物損公衆災害  | 発生日時 | 令和3年2月17日(水曜日) 12時00分頃 |    | 工事関係者区分 | 元請け  |    |
| 事故区分 | 埋設物等損傷  | 性別   | —                      | 年齢 | —       | 業種区分 | 土木 |
| 被災程度 | 給水管(φ40)の破損   |      | 事故レベル                  | I  | 休業見込日数  | —    |    |
| 工事概要 | 舗装等撤去付帯工事   |      |                        |    |         |      |    |
| 事故概要 | 鉄筋コンクリート塀(H2200)をバックホウにて撤去作業中に、給水管(φ40)を誤って破損させたもの。                               |      |                        |    |         |      |    |
| 事故原因 | 給水管が鉄筋コンクリート塀に巻き込んでいることの確認が困難で位置の確認が不十分であった。また、量水器の周りの施工の際、危険予測し十分注意して行えていなかったもの。 |      |                        |    |         |      |    |
| 改善策  | 受注者に対し、安全作業の徹底や作業手順等の再確認を行うよう指示し、事故再発防止に関する教育を実施した。                               |      |                        |    |         |      |    |

## 事故状況図



事故発生時の状況



給水管(φ40)の破損箇所

## 改善状況図



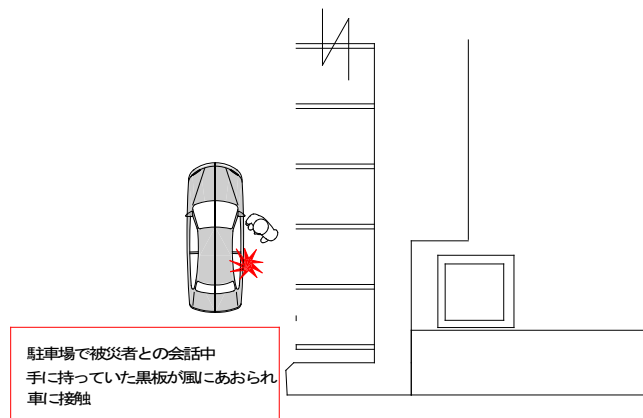
事故再発防止に関する教育状況

# 公共工事等事故情報

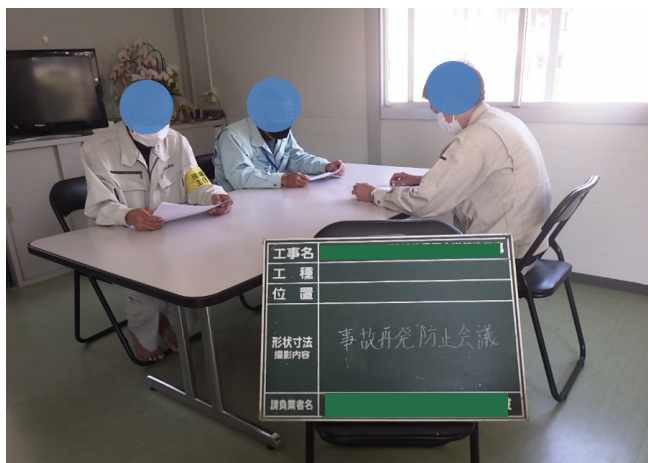
|      |  |      |                          |       |            |         |      |
|------|--|------|--------------------------|-------|------------|---------|------|
| 事故分類 | 物損公衆災害   | 発生日時 | 令和 3年 2月 17日(水曜日) 9時 30分 |       |            | 工事関係者区分 | 一次下請 |
| 事故区分 | 車両・自転車等損傷  | 性別   | —                        | 年齢    | —          | 業種区分    | 土木   |
| 被災程度 | 車両運転席の後部ドア損傷   |      |                          | 事故レベル | (技術監理課で記入) | 休業見込日数  | —    |
| 工事概要 | 下水道管路の撤去及び閉塞   |      |                          |       |            |         |      |
| 事故概要 | 作業員(写真撮影担当)が車中の被災車両運転者(被災者・近隣住民)に呼ばれたため、黒板を持ったまま、急いで被災車両に近づき会話を行ったところ、作業員が片手で持っていた黒板が風に煽られて車両に接触したものの。           |      |                          |       |            |         |      |
| 事故原因 | 当日は、強風が吹いており、工事用黒板を持ったまま、不用意に被災車両の近傍で被災者と会話ししたことによるもの。   |      |                          |       |            |         |      |
| 改善策  | 強風時には、原則として、風の影響を受けやすいもの(黒板・看板等)を持ったまま、人や第三者の財産に接近しないこと。その際、黒板等については、車両等に収納する、もしくは飛散対策をしたうえで地面に置く等の安全な取り扱いを徹底する。 |      |                          |       |            |         |      |

## 事故状況図

発生時状況



## 改善状況図



# 公共工事等事故情報

|      |  |      |                        |       |    |         |       |
|------|--|------|------------------------|-------|----|---------|-------|
| 事故分類 | 労働災害   | 発生日時 | 令和 3年 2月 20日(土曜日)2時20分 |       |    | 工事関係者区分 | 二次下請  |
| 事故区分 | 転倒   | 性別   | 男性                     | 年齢    | 56 | 業種区分    | 土木    |
| 被災程度 | 左足関節骨折   |      |                        | 事故レベル | II | 休業見込日数  | 2ヶ月程度 |
| 工事概要 | 管布設工事(推進工)   |      |                        |       |    |         |       |
| 事故概要 | 立坑内にて推進設備撤去後、片付け作業中に支圧壁前面に溶接にて設置していた鉄板が倒れ左足を負傷した。  |      |                        |       |    |         |       |
| 事故原因 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄板設置時に溶接にて固定されていることを確認していた為、撤去時についても固定されているとの思い込みがあった。</li> <li>・鉄板は溶接にて固定されているとの思い込みがあり、作業開始前・作業中に固定状況の確認を怠った。</li> <li>・支圧壁に鉄板を溶接する際に、推進による負荷に耐えられる強固な溶接(全周溶接等)を行っていないかった。</li> </ul>    |      |                        |       |    |         |       |
| 改善策  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・支圧壁に溶接・固定された鉄板であっても、推進作業に伴う負荷により、支圧壁から外れている可能性があると思定し撤去の際も事前の確認を必ず行う。</li> <li>・作業開始前にKY等により全ての作業員が撤去手順を確認し、危険要因が極力少なくなるような施工順序で作業を行う。</li> <li>・支圧壁に鉄板を溶接する場合、強固に溶接(全周溶接等)を行う。</li> </ul> |      |                        |       |    |         |       |

## 事故状況図



## 改善状況図

### 【事故再発防止会議】



# 公共工事等事故情報

|      |  |      |                        |       |    |         |      |
|------|--|------|------------------------|-------|----|---------|------|
| 事故分類 | 労働災害   | 発生日時 | 令和3年2月21日(日曜日) 15時50分頃 |       |    | 工事関係者区分 | 一次下請 |
| 事故区分 | 飛来落下   | 性別   | 男性                     | 年齢    | 39 | 業種区分    | 設備   |
| 被災程度 | 急性硬膜外血腫、多発性骨折  |      |                        | 事故レベル | Ⅱ  | 休業見込日数  | 30日  |
| 工事概要 | 道路照明灯取替作業  |      |                        |       |    |         |      |
| 事故概要 | 道路照明灯取替作業において、既設共架式灯具を撤去する際にロープにて固定し、そのまま地上に降ろそうとしたところ、固定していたロープが外れ灯具が落下し、直下にいた作業員の頭部に接触した。  |      |                        |       |    |         |      |
| 事故原因 | 灯具を降ろす際にロープが緩み外れたため、灯具が落下したもの。   |      |                        |       |    |         |      |
| 改善策  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・灯具の撤去を行う際には、バケットを灯具の真下につけバケット内で撤去することを原則とする。</li> <li>・灯具撤去作業時、直下は立ち入り禁止措置をとり垂直作業は行わない。</li> <li>・他の作業員に聞こえるよう指差呼称を行う。「(「ロープ固定確認ヨシ!」など)</li> </ul> |      |                        |       |    |         |      |

## 事故状況図

既設灯具を撤去時、ロープに固定し地上に降ろす際ロープが外れ、直下にいた作業員の頭部に接触した。



## 改善状況図



再発防止のため緊急安全協議会を実施



# 公共工事等事故情報

|      |   |      |                      |       |   |         |      |
|------|---|------|----------------------|-------|---|---------|------|
| 事故分類 | 物損公衆災害  | 発生日時 | 令和3年2月25日(木曜日)11時50分 |       |   | 工事関係者区分 | 一次下請 |
| 事故区分 | 埋設物等損傷  | 性別   | —                    | 年齢    | — | 業種区分    | 土木   |
| 被災程度 | ガス管空気抜き管(φ50×φ20)の破損  |      |                      | 事故レベル | I | 休業見込日数  | —    |
| 工事概要 | 老朽化した管の取替え工事  |      |                      |       |   |         |      |
| 事故概要 | 管を敷設するための掘削作業を行っていた際、バックホウによりガス供給管に付属していた空気抜き用管(φ50×φ20)を破損した。  |      |                      |       |   |         |      |
| 事故原因 | 埋設物管理図にガス管の深度が65cmと示されていたため、それ以浅の堅固な改良地盤をバックホウでほぐす作業を行ったところ深度60cmにあった空気抜き管(被災管)頭部にバックホウのバケットが接触し、これを破損させた。                              |      |                      |       |   |         |      |
| 改善策  | <ul style="list-style-type: none"> <li>地下埋設物の位置及び土被りを掘削作業前に確実に把握し、近傍での掘削作業は人力掘削を基本とし、堅固な地盤に対してはピックハンマーを用いるなど適切な作業を行うことを徹底する。</li> </ul> |      |                      |       |   |         |      |

## 事故状況図



## 改善状況図

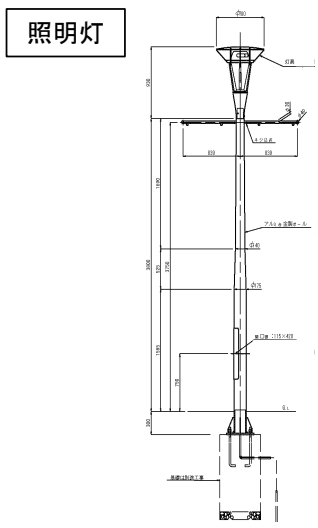


地下埋設物の近傍での掘削作業は、人力掘削を基本とし、堅固な地盤に対してはピックハンマーを用いるなど適切な作業を実施するよう、社員全員に周知し、再発防止に努めるための安全対策会議を実施した。

# 公共工事等事故情報

|      |  |      |                         |       |   |         |      |
|------|--|------|-------------------------|-------|---|---------|------|
| 事故分類 | 物損公衆災害   | 発生日時 | 令和 3年 2月27日(土曜日) 10時00分 |       |   | 工事関係者区分 | 一次下請 |
| 事故区分 | その他  | 性別   | —                       | 年齢    | — | 業種区分    | 土木   |
| 被災程度 | 歩道照明灯 倒壊   |      |                         | 事故レベル | I | 休業見込日数  | —    |
| 工事概要 | 道路改良工事   |      |                         |       |   |         |      |
| 事故概要 | 歩道上に仮置きしていた資材を搬出するため、ダンプトラックを歩道上に乗り入れさせ、そののち後進させた際に、運転者が後方にあった歩道照明灯に気づかず接触したもの。  |      |                         |       |   |         |      |
| 事故原因 | ダンプトラックの入退場の際、通常、合図誘導者を配置していたが、事故発生時には配置がなされていなかったため。  |      |                         |       |   |         |      |
| 改善策  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・建設車両の作業場への出入り時や現場内での移動時は必ず合図誘導者を配置し、運転手はその指示に従い、周囲を十分確認したうえで運転するよう徹底する。</li> <li>・事故再発防止研修を開催し、事故の検証・再発防止について周知を行い、安全に対する意識の向上を図った。</li> </ul> |      |                         |       |   |         |      |

## 事故状況図



事故状況



## 改善状況図



再発防止研修  
実施状況